



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中! <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平

■運動会 目前です



今年の運動会のスローガンは、「一致団結 みんなで全力 運動会」です。6年生が中心となって、各クラスの意見をまとめ、スローガンとしました。全校358人が、一つの行事に向かって、今年初めて一致団結する場です。

校長室に遊びに来た子どもに、運動会で一番楽しいことは何か聞いてみると、「リレ

ーかな。足は速くないけど、一生懸命走りたい。最後まで順位が分からないから楽しみ。」と答えてくれました。運動能力が高い子どもは、ぜひ、運動で輝いて欲しいと思います。しかし、運動会でがんばる場面は、運動だけでは、ありません。応援をがんばる、団体種目をがんばる、ダンスをがんばる、委員会の仕事をがんばる等、全力で取り組む場面は、いろいろあります。子どもたちには、自分なりのめあてをもって運動会に参加し、全力を出し切った、一生懸命やったという充実感を味わって欲しいと思います。

保護者の皆様には、運動会后、お子さんなりのがんばりを見付け、ぜひ、褒めていただければ有り難いです。それが、自分なりにがんばった、やればできるという気持ちを育み、子どもたちが次の活動へチャレンジしようとする意欲につながります。

■子どもが主役の行事の在り方



私が運動会を行うにあたり、気を付けていることは、「やらされ感のない運動会」にすることです。私の子どもの頃の運動会は、竹の棒を持って、列が崩れないように入場行進練習を繰り返しました。そのためか「運動会＝面倒くさい」という思いが残っています。

教師が、見栄えのよい物を作ろうという意識が強くなると、ついつい練習回数が多くなります。その結果、練習するほど子どもたちのやる気が失われ、主役が子どもではなくなります。教師の都合で運動会練習のために休み時間を使うこと

も止めました。時間の制約のある中、職員は、指導の工夫をしてくれ、ダンスリーダーが、全校児童が、自主参加の「よっちょれパーティー」を企画しました。写真は、休み時間の自主参加にもかかわらず、大勢の子どもたちが、ダンスに参加し、元気のいい声を上げ、ダンスそのものを楽しんでいる様子です。先生に言われたからやるのではなく、楽しいから活動する、やりたいから参加する、子どもが主役の行事をこれからも目指していきます。

■5月の生活目標

生活目標は、以下3つです。

- ①礼儀正しく挨拶をする。
- ②「さん」をつけて呼ぶ。
- ③言葉づかいに気をつける。(語尾に「～です」、「～ます」をつけて話す)

「全米で最も優秀な教師による超基本ルール集」というコメントが本帯に書いてある「あたりまえだけど、とても大切なこと 子どものためのルールブック」(草思社)という本があります。ルールは全部で50ありますが、1番目のルールが、「大人の質問には、礼儀正しく答えよう」です。アメリカ

でも礼儀、挨拶は大切なのだと本を読んだとき、感じたことを思い出しました。

私は、特別支援学校の勤務経験がありますが、「卒業したら社会人」を合い言葉に職業訓練を行っていました。どの企業の採用担当者も「挨拶、礼儀がきちんとした生徒が欲しいです。技術は、会社で育てます。」と話していました。また、挨拶をすることは、相手を認める第一歩です。多様性を認め合える学校は、挨拶が飛び交う学校だと考えています。学校で指導している「あいさつレベル表」を参考に掲載しておきます。

★弥彦小学校 あいさつレベル表

レベル5	誰にでも自分から目を合わせて挨拶する。
レベル4	誰にでも自分から挨拶する。
レベル3	知っている人に自分から挨拶する。
レベル2	挨拶されて言葉で返す。
レベル1	挨拶されて会釈する。
レベル0	挨拶されて返さない。



■コミュニティ・スクール、スクールサポーターについて



弥彦村コミュニティ・スクールは、学校運営協議会機能（学校運営に地域の意見を反映させる）と学校支援ボランティア機能をもっています。地域は、子どもたちのためにできることを行う、学校は教育活動を通じて地域と連携し、子どもたちに「郷土愛」「夢・志」を育て、地域を盛り上げる人材の育成を行います。新潟県では、今年度よりアントレプレナーシップ教育（起業家教育）を進める方針ですが、弥彦村コミュニティ・スクールを核とした地域の企業と連携した教育活動も今後視野に入れていきます。

上の写真は、プール清掃や苗植えをスクールサポーター（地域ボランティア）の皆様のご協力のもと行っているところです。登校の見守り、学校図書館ボランティア等、大勢の方から学校の教育活動にご支援いただいております。

また、学校に地域の方が集える教室「みんなのいばしょ」もあります。ぜひ、学校にお越しいただき、子どもたちの元気な声を聞き、子どもたちからパワーをもらいませんか。

